

抗メタボリックシンドローム対策製品を含む健康食品の開発・販売の事業支援

株式会社GMC（奈良県）

健康寿命を延ばす、メタボ撲滅の想いから、現役薬剤師として健康食品開発を決意！！

1. 相談のきっかけ

- 同志社女子大学で講師をしており、糖尿病患者向け等の健康食品を独自で研究・開発。「みんなが笑顔で過ごすためには、最低限健康であることが必須」薬は副作用があり万能ではないことから、人の体に害のない健康食品を提供するため創業を決意。中小企業庁に相談したところ、当拠点を紹介され、創業相談（事業化、融資関連）に来訪された。

2. 課題整理・分析

- 抗メタボリック製品は、保険外適用項目の検査等が必要なため、エビデンス取得（臨床検査）の必要性がある。
- 開業および製品開発に当たり、相応の資金調達が必要となり、開発技術の確立・顧客ニーズを踏まえた販路開拓等の詳細な計画を立て、事業の妥当性・実現性を示していく必要がある。

3. 解決策の提案

- 開発製品のエビデンスにおいて、抗メタボ製品は、臨床検査・大学病院等とのモニターテスト等を実施することなどを提案する。その上で機能性表示を取得する。なお、他製品は主原料で臨床検査をした文献を用いる。
- 事業計画では、資金の必要性の明確化、事業化に至る販路を示すなど、実現性の高い計画とすることを提案。



4. 成果

- メタボリック対策製品開発におけるエビデンス取得に関する方策を策定できた。
- 日本政策金融公庫から必要額の融資が執行された。
- ものづくり・商業・サービス革新補助金の1次公募の採択が決定した。
- 平成27年5月に法人設立。平成27年12月に血糖値改善・睡眠改善製品（睡蓮：機能性表示許可取得）の発売し、月間約50セットを販売、抗メタボリックシンドローム製品（グルコゼリー）は販路開拓中である。また、開発中の高血圧対策ゼリーの発売も平成28年11月に発売した。

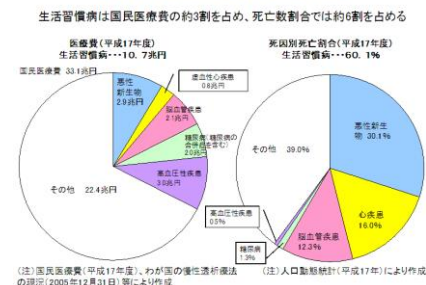
睡蓮



グルコゼリー



生活習慣病の医療費と死亡数割合



健康博覧会に出展

